

【ジュニアフォトグラファーズ開催の狙い】

9月24日木島平村小学校で「キャノンジュニアフォトグラファーズ」を開催しました。株式会社キャノンが全国各地で実施しています。身近な自然と向き合って、環境について学ぶ機会を、子どもたちに提供するのがねらいです。

木島平村は自然豊かな環境に囲まれている村です。しかしそこに暮らす人々は、その環境が当たり前すぎて意識していません。そこで、未来の木島平村を担っていく子供たちに、まずは足元の環境から見直してもらいたい、そんな思いからこの企画を実施しました。

以前に比べれば、子どもたちがカメラに触れる機会は格段に増えたと思われます。携帯電話やスマートフォンなど、カメラが付いた機器が増えたからです。子供たちも慣れていているかと思っておりましたが、実際にカメラを手渡された子供たちは大騒ぎで友達と写しあいを楽しんでいました。



デジタルカメラは生徒一人に一台ずつ貸し出されました。写真家の永武先生による写真撮影の基礎を教えてもらって、気分はもうカメラマンです。



子どもたちは、学校の回りの風景をじっくり観察しながら、自分の気になるものにカメラを向けてシャッターを切っていました。普段から、学校の行き帰りなどで周りの風景を見慣れている子供たちですが、改めてしっかり観察することで新しい発見があったようで

す。



撮影が終われば、お気に入りの一枚を選んで、プリントしました。作品のタイトル、選んだ理由などを書き込んで、全員で作品発表会。終了後のアンケートでは、「楽しかった」や「またやってみたい」など、意見がたくさんありました。写真を通じて、自分の感じたことを表現する楽しさを感じてもらえたのではないのでしょうか。



プロジェクトリーダー 西田徹也 (木島平アート部)